

究極のプライバシーを。 ローカルLLM導入ガイド。



究極のセキュリティ — 「データ流出ゼロ」の証明



- 自分のPCから一歩もデータが出ないため、究極に安全。
- 処理がすべて手元の端末内で完結するため、インターネットに接続されていない環境でも動作。
- 入力したデータが外部に漏れることは物理的にあり得ない。

ゼロコストと自由 — 制約からの完全な解放

通信制限なし

ネットがない環境でも動く。



トークン課金なし

完全に無料で使い放題。
通信費を抑えたい用途に最適。



回数制限なし

個人で通信費を気にせず
何度でもやり取りが可能。



自分のPC（MacBookやWindowsPC）に直接モデルをダウンロードして動かすだけで、すべての制約から解放される。

導入の鍵「GPU」 — AIの物理的な心臓部

【処理速度の向上】

GPUの並列計算能力が、AIのレスポンス「速さ」を直接決定する。

【頭脳のサイズ（賢さ）の決定】

VRAMの容量が、読み込めるAIモデルの大きさを制限する。
大容量=より賢いモデル。

【クラウドサーバーの代役】

外部の巨大な演算リソースに繋がず、手元のマシンを「独立したAIサーバー」へと昇華させる。

推奨ユースケース — 閉ざされた環境での活用

パーソナルデータ



個人で機密性の高い日記を書きたい場合に最適。絶対に他人に読まれたくない個人的な記録の整理や分析に。

機密コードの生成・検証



社外秘のソースコードを入力し、安全にバグチェックやリファクタリングを実行。機密性の高いコードの取扱いに。

社内専用サーバー（オンプレミス）



顧客データや社外秘ドキュメントを学習させた、完全クローズドな社内専用AIの構築。社内サーバーの『手元のマシン』だけで動かすAI。

究極のプライバシー確保に向けた判断基準

【メリット（恩恵）】

- ✓ 完全に無料で使い放題
- ✓ インターネット非接続（オフライン）でも動作
- ✓ 自分のPCから一歩もデータが出ない究極の情報セキュリティ

【デメリット・要件（物理的制約）】

- ⚠ 高性能なPC（特にGPU）の初期投資が必要
- ⚠ マシンのスペック以上の巨大なモデルは動かせない
- ⚠ クラウド型に比べ、処理速度や頭脳のサイズに制限がある

マシンの性能による制限は存在するが、究極の情報セキュリティとプライバシーを確保するための『最も確実な手段』である。